

景観資源 一覧

-  景観重要公共施設
-  景観重要建造物
-  景観重要樹木
-  ちがさき景観資源
-  ちがさき景観資源



ちがさき景観資源

指定番号	名称	所在地	指定日(又は指定解除日)
第1号	鶴嶺八幡宮参道の松並木	下町屋二丁目 732 番 1 及び 722 番 1 (鶴嶺八幡社参道)	平成 22 年 3 月 26 日
第2号	旧相模川橋脚のソメイヨシノ	下町屋一丁目 547 番 1 (うち国指定史跡旧相模川橋脚として指定されている範囲)	平成 22 年 3 月 26 日
第3号	腰掛神社の樹叢	芹沢字下場 2169 番 1、2169 番 2、2169 番 3 及び 2170 番 (腰掛神社境内)	平成 22 年 3 月 26 日
第4号	鶴嶺小学校のカイツカイブキとソメイヨシノ	浜之郷字本社 476 番 (鶴嶺小学校敷地内)	平成 22 年 3 月 26 日
第5号	勘重郎堀のシイノキ	—	平成 29 年 12 月 5 日 指定解除
第6号	松尾大神のタブノキとイチヨウ	今宿字台 586 番	平成 23 年 8 月 22 日
第7号	関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士 茅ヶ崎南湖の左富士	鳥井戸橋・石原橋	平成 28 年 3 月 22 日
第8号	関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士 茅ヶ崎海岸・ヘッドランドとその周辺	東海岸四丁目 (茅ヶ崎海岸・ヘッドランド及びイベントデッキ付近)	平成 28 年 3 月 22 日
第9号	関東の富士見百景 茅ヶ崎市からの富士 県立茅ヶ崎里山公園内 柳谷	県立茅ヶ崎里山公園内富士見の丘付近	平成 28 年 3 月 22 日
第10号	浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア	浄見寺・茅ヶ崎市博物館・民俗資料館周辺	令和 5 年 2 月 17 日
今回追加指定 第11号	えぼし岩	姥島岩礁の一部 (茅ヶ崎漁港より 2.1 km)	令和 8 年 3 月 12 日

2-4 ちがさき景観資源

第1号 つるみねはちまんぐうさんどう まつなみき 鶴嶺八幡宮参道の松並木

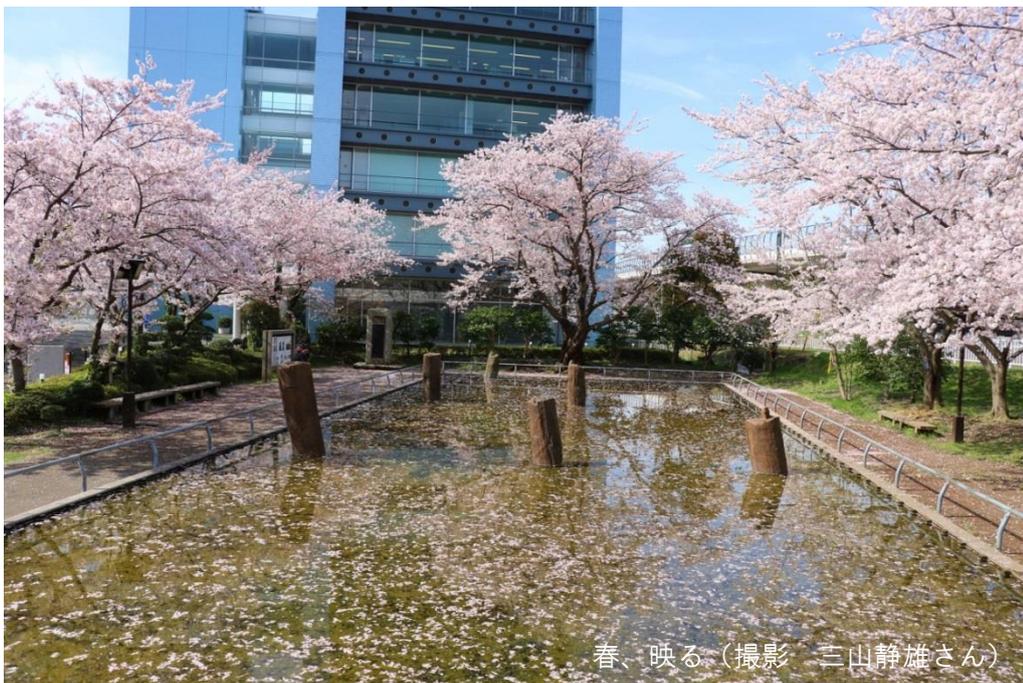


所在地
下町屋二丁目732番1
及び722番1(鶴嶺八
幡社参道)

指定年月日
平成22年3月26日

特徴
江戸時代から続く松
並木であり、その長さ
及び風格は県内でも
有数のもの。

第2号 きゆうさがみがわきょうきやく 旧相模川橋脚のソメイヨシノ



所在地
下町屋一丁目547番1
(うち国指定史跡旧
相模川橋脚として指
定されている範囲)

指定年月日
平成22年3月26日

特徴
お花見の場所として
親しまれており、更に
文化財を引き立てる
役割を果たしている。

春、映る(撮影 三山静雄さん)

第3号 こしかけじんじゃ 腰掛神社の樹叢 じゆそう



所在地

芹沢字下場 2169 番
1、2169 番 2、2169
番 3 及び 2170 番
(腰掛神社境内)

指定年月日

平成 22 年 3 月 26 日

特徴

樹令 300 余年の杉な
どの巨木が生い茂り、
昔ながらの神社の森
の雰囲気を残してい
る。

2
・
4

ちがさき
景観資源

第4号 つるみねしょうがっこう 鶴嶺小学校のカイツカイブキとソメイヨシノ



カイツカイブキ



ソメイヨシノ

所在地

浜之郷字本社 476
番（鶴嶺小学校敷地
内）

指定年月日

平成 22 年 3 月 26
日

特徴

【カイツカイブキ】
校庭と校舎の間に
位置し、鶴嶺小学校
に通う生徒に親し
まれている。樹形は
の管理をこまめに
行い、樹木の特性を
活かした樹形が維
持されている。

【ソメイヨシノ】
鶴嶺小学校が開校
した年に当時の校
長先生が購入した
と言い伝えられて
おり、100 年以上に
わたって親しまれ
ている。

第6号 まつおだいじん 松尾大神のタブノキとイチョウ



所在地
今宿字台 586 番

指定年月日
平成 23 年 8 月 22 日

特徴
タブノキ、イチョウの
全てが巨木であり、こ
れだけの巨木が街な
かであらまて植生
しているのは珍しい。
変わりゆく地域の中
で昔からの地域の景
観を残す貴重な資源
となっている。

第7号 かんとう ふじみひやつけい 関東の富士見百景 ちがさきし 茅ヶ崎市からの富士 ふじ 茅ヶ崎南湖の左富士 ちがさきなんこ ひだりふじ



所在地
鳥井戸橋・石原橋

指定年月日
平成 28 年 3 月 22 日

特徴
歌川広重の東海道五
十三次名所図絵に描
かれる。東海道で二箇
所しかない左富士を
望むことができる。

第8号 ^{かんとう} 関東の富士見百景 ^{ふじみひやっけい} 茅ヶ崎市からの富士 ^{ちがさきし} 茅ヶ崎海岸・ヘッドランドとその周辺 ^{しゅうへん}



雄大な富士山（撮影 三山静雄さん）

所在地
東海岸四丁目（茅ヶ崎海岸・ヘッドランド及びイベントデッキ付近）

指定年月日
平成 28 年 3 月 22 日

特徴
海辺や富士山を楽しむ茅ヶ崎の生活スタイルを代表する場所。漁港周辺にマンションが計画された当時、ここからの遠景を守るために、市民、行政、事業者による話し合いが行われた。そして現在、この景色を楽しむことができている。

第9号 ^{かんとう} 関東の富士見百景 ^{ふじみひやっけい} 茅ヶ崎市からの富士 ^{ちがさきし} 県立茅ヶ崎里山公園内柳谷 ^{ふじけんりつちがさきさとやまこうえんないやなぎやと}



所在地
県立茅ヶ崎里山公園
内富士見の丘付近

指定年月日
平成 28 年 3 月 22 日

特徴
樹林や田畑の近景と大山、富士山を望むことができる。昔ながらの里山と富士山の景観として市内でも貴重なもの。

第10号 じょうけんじしゅうへん れきし ぶんかこうりゅう 浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア



所在地
堤（浄見寺・茅ヶ崎市博物館・民俗資料館周辺）

指定年月日
令和5年2月17日

特徴
大岡政談などで名高い大岡忠相の墓所である浄見寺をはじめ、景観重要建造物である民俗資料館や、茅ヶ崎の自然と歴史・文化に関する遺産を保全・継承し、活用していくための拠点として整備された茅ヶ崎市博物館が近接して立地し、歴史や文化の交流エリアとしての景観を形成している。



今回追加指定

第11号 えぼし岩^{いわ}



所在地

姥島岩礁の一部（茅ヶ崎漁港から 2.1 km）

指定年月日

令和 8 年 3 月 12 日

特徴

湘南の風景要素である富士山や江の島などの周辺風景との一体感によって、茅ヶ崎のシンボルとして訪れる人々を引き付ける魅力的な景観を形成している。



姥島岩礁（撮影 鶴岡 京太郎さん）



地引き網（撮影 三山 静雄さん）